

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成31年2月8日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 お手元の広報日程に基づいて、補足説明をさせていただきます。

1ページ目については、新しい追加の情報はございません。

2ページ目、2月12日火曜日、(4) 第679回の審査会合についてでございます。こちらの会合では、議題として1件の審査が予定されております。

内容は、東北電力・女川発電所2号炉についての審査でございます。こちらについては、重大事故対策の有効性評価など、具体的には炉心損傷防止対策などについてのコメント回答が行われる予定でございます。

次に、同じく2ページ目の中段、2月14日木曜日、一つ置きまして(7) 平成30年度放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業）研究成果報告会、こちらが開催される予定でございます。この報告会は、2月14日木曜日の記載のとおり午前10時半から夕方までと、また、翌日の15日金曜日の10時から、2日間にわたって開催される予定でございます。

こちらの内容は、議題でございますように、この研究事業に係ります研究成果の報告ということで、各研究テーマの研究代表者の方から報告をしていただくという予定でございます。

次に、その下、(8)、同じく2月14日木曜日でございますが、第681回の審査会合が午後に開催される予定でございます。こちらは特定重大事故等対処施設に係る審査のため、非公開とさせていただきます。審査の対象は、九州電力・玄海発電所3号炉及び4号炉の設置変更許可、特重施設に係る許可についてでございます。

次に、3ページ目上段、(9)、こちらも2月14日木曜日でございます。第260回の核燃料施設等に関する審査会合の開催が予定されております。夕方でございます。議題は、記載のと通りの2件が予定されております。

まず、議題1といたしまして、リサイクル燃料貯蔵株式会社のリサイクル燃料備蓄センター、こちらの今後の審査方針についての審査が予定されております。こちらは、今週の委員会におきまして、この審査方針、事務局から報告し、議論が行われたところでございます。その方針を踏まえまして、審査会合で議論を行うというものでございます。

次に、議題2といたしまして、原子燃料工業株式会社・熊取事業者（加工施設）の、こちらは保安規定の変更認可申請についての審査が予定されております。こちらは保安規定の変更認可申請について、先般1月31日に補正の申請が出されております。この補正は新規制基準全体への対応ということではなく、対応可能な部分から実施していくということで、品質保証などについての内容を含んでいるものでございます。この補正申請について、説明をお聞きして審査を行うという予定でございます。

次に、3ページ目の中段になります。2月15日金曜日、こちらは（12）でございます。平成30年度放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業）第2回研究評価委員会、これが午後開催される予定でございます。

こちらは、この研究事業に係る研究の評価につきまして、外部有識者の委員会で評価を審議・議論いただくというものでございます。こちらは研究に関します投稿中の論文、あるいは特許申請に係る成果など、知的財産権の観点から保護が必要な内容を含む議論が行われますため、非公開ということで開催させていただきます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ドイさん。

○記者 電気新聞のドイです。

14日の核燃料施設の審査会合の議題1のRFSの件でお聞きしたいのですが、これは進め方としては、先日、委員会です承された審査方針の変更というのを、まずは規制庁のほうから伝えるというところから始まるというような理解でよろしいのでしょうか。

○大熊総務課長 はい。基本的には、今、御質問、御指摘があったように、2月6日の委員会で議論され、了承された方針をお伝えするということですが、公開の委員会でこの方針は議論しております。事業者のほうでも、この方針、御承知されていると思いますので、事業者の側からも方針についての御説明があるのだろうと思っております。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—